



# 幸手市立行幸小学校 学力保障グランドデザイン



学校教育目標  
自ら学ぶ子  
明るくやさしい子  
元気にやりぬく子

## 学校研修課題

児童一人一人をみつめる個別支援の在り方  
—ユニバーサルデザインの視点を取り入れて—

## 本年度の重点

- 1 一人一人の能力が最大限に伸びるための研究
- 2 個別最適化な学びの実践
- 3 一人一人によりそう支援プランの充実

## 達成目標

- 1 全国学力・学習状況調査 全国平均以上
- 2 埼玉県学力・学習状況調査 学力が伸びた児童を増やします。
- 3 幸手市統一学力調査  
平均正答率向上と無回答率の削減を目指します。
- 4 確認テスト 100点になるまでやり切ります。
- 5 家庭学習 学年の目標時間を達成できるようにします。
- 6 算数わくわくランド100枚達成児童を増やします。

# みんなが行きたくなる 笑顔あふれる 行幸小

## 学校の共通行動



### UDの視点を取り入れた授業の実践

児童に必要な支援が授業の中で確実に実施できるようにするために校内研修において、UDの視点を取り入れた授業について研究し、共通理解・共通行動を実践する。

### 個別の支援プランに基づいた共通行動の徹底

児童一人一人のニーズを的確にとらえ、必要な児童に個別の支援プランを作成する。全教職員が内容を共通理解し、共通行動で児童を育成する。

### 個別最適化な学びの実践

個別の支援プランをもとに、児童一人一人に必要な学び方や必要な学習計画を作成し、個別最適化な学びを実施する。

### 教育相談体制の充実

必要に応じて、児童一人一人について全教職員でみつけ、多面的に児童の特性を捉え、相談、支援を実施する。

## 授業外での取組



### 業前時間を活用した基礎基本の定着

傾聴作文（朝会時）  
国語タイム、算数タイム、読書タイムの計画的、継続的な実施による基礎学力の定着

### 長期休業中の取組

学習内容の確実な伝達と実施の協力体制を構築する。  
端末を活用し、個別化した学習を実施する。  
ファミリー読書の実施。

### 算数わくわくランドの充実

達成枚数ごとに達成賞を進呈、100枚達成ごとに校長賞の贈呈し、意欲の醸成を図る。

## 確かな授業実践



### 授業の構造化

誰もが取り残されない授業の確実な実施のために構造化された授業を実施する。

### 板書（授業記録）の充実

学習のよりどころとなる板書（授業記録）を作成し、復習や見直しを徹底し、学習の定着の一つの方法とする。

### 一人一人の役割の明確化

授業の中で一人一人の児童が自分の役割に気づくことができるようにするとともに、確実に役割をやりきることができるように授業を展開する。

### 学び合う教職員

磨き合い、高め合う教職員集団であるために、校内研修を中心として児童一人一人について、語り合う場面を設定する。

## 家庭・学校間連携



### 家庭学習の習慣化

家庭学習の内容を家庭で確実に把握し、学校と協働して学習の習慣化を図る。

### 1人1台端末の利活用

これまで通り、Teamsを活用し、やむを得ず登校できない児童に対する同時双方向型授業を実施する。また、アプリケーションを使い、指導の個別化を図る。

### 校区間連携

小・中学校それぞれの実態（児童生徒の様子や学習環境の違い、生活の決まりの違いなど）の相互理解を深め、9カ年を見通して計画的・段階的な指導を図る。そのため、年間を通じて、対面・リモートによる部会を開催する。